

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立熊谷商業高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	伝統ある商業高校の特性を踏まえ、生徒・保護者や地域の期待やニーズを把握し、学校として目指す方向が示されている学校像である。生徒の実態や学校の状況に応じた適切なものであり、期待に応えたものとなっている。今後、創立100周年という大きな節目に向け、新たなステージに向けた学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。目指す学校像の内容との関連性をさらに意識し、中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて一層重点化することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	重点目標を踏まえて、分掌・学年シートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムを適切に運営するため、組織間の連携を強化し、よく議論しながら目標の連鎖を図り、教職員や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	各種検定を活用し、難易度の高い資格の取得など具体的な成果が上がっている。方策の評価指標が、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすい指標となるよう検討し、方策を計画的に実施することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を分析し課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、創立100周年に向け「将来構想検討委員会」を始動させるなど、組織的に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、生徒・保護者・地域が寄せる期待に十分応えるよう、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	「熊商ジャーナル」を以前よりも充実させ情報発信を高めるなど、学校関係者の意見等を踏まえながら前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしている。アンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど有効に活用し、次年度のより具体的な取組につなげ、さらにスパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			